編 集 後 記

「小中連携・一貫教育」・「自然・生活体験」の両アンケートに年末のお忙しい中、ご協力くださいました各校並びに先生方、子どもたちに、御礼を申し上げます。お陰様で、「小中連携・一貫教育」における、義務教育９年間の連続性への進捗状況や、今後の方向性を確かめ合うことができました。また、子どもたちの心身の発達に欠くことのできない「各種体験」についても、その一端を把握することができました。今後、保護者も交え、子どもたちが育つ条件や環境づくりに生かされることを願っています。

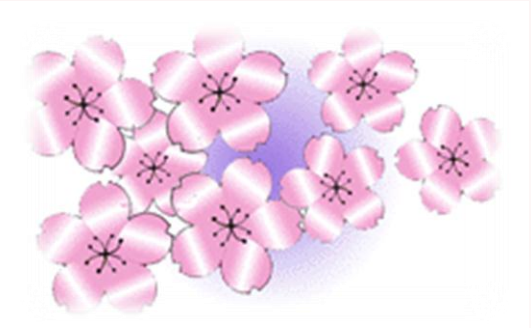
（所長　　高井　徳廣）

一年間、広報部でお世話になりました。今回も、稚内の子どもたちの実態をアンケートでとりました。自然が多い稚内でも、子どもたちの体験が少ないことがわかりました。この資料をもとに、保護者と手を結ぶ参考になれば幸いと思っております。ありがとうございました。

（広報部長　　菊地　俊雄（中央小））

今回の所報でも、子どもたちの実態から、課題や今後の指導の在り方の方向性を探っていこうということで、アンケートを実施しました。多くの回答をいただいたおかげで「今の子どもたち」を少しばかりであれ、捉えることができたと思います。ご協力ありがとうございました。一年間お世話になりました。

（所員　　米倉　直子（潮見が丘小））

大変お忙しい中、各種アンケートにご協力いただきましたことに御礼申し上げます。所報の作成に携わったことで、今まで知らなかった、多くの知識を得ることができ、自分自身、大変勉強させていただいたと、感謝しております。この所報が少しでも、現場の先生方のお役にたてるものになっていれば、幸いです。ありがとうございました。

（所員　　美谷　桜子（専任））